

千歳市市民協働推進会議議事録

会議名	市民協働推進会議（第7期 第9回・書面会議）
日時	意見聴取期間：令和2年3月19日（木）～24日（火） 意見集約日：令和2年3月27日（金）
出席者	委員：15人

議題	(1) ひと・まちづくり助成事業実施後意見交換 【事業名】：市民ミュージカル開催事業 【事業名】：千歳市吹奏楽協議会主催 演奏技術向上事業 【事業名】：支笏湖の歴史遺産「山線」を活用した地域活性化事業 (2) その他
決定事項	特になし。

◎委員 ■事業申請者 □実施担当課 ○事務局 ●附帯意見

<p>(1) ひと・まちづくり助成事業実施後意見交換</p> <p>【事業名】：市民ミュージカル開催事業</p> <p><質疑応答></p> <p>◎連携団体が、千歳高校、北陽高校、駒里小中学校となっているが、具体的にどのように連携したのかお聞きしたい。また、次年度以降、高校生以下の出演もあり得るのか、教えていただきたい。</p> <p>■千歳高等学校及び北陽高等学校演劇部の部員に出演していただいたとともに、顧問の先生等に実行委員会に加入していただき、ミュージカルの運営に関わっていただいた。加えて、駒里小中学校の有志の生徒に出演していただいた。その際、保護者や校長先生に送迎や学校での稽古についてご配慮いただいた。現在千歳では、演劇を実施する小中学校はなく、今回は短期であったものの、演劇の持つ力について身をもって体験していただいたことが将来につながると確信している。来年度以降も高校及び駒里小中学校と連携していく予定である。今後も連携するところを徐々に増やしていく考えである。</p> <p>◎初めての市民ミュージカルという事で市民の関心も高く、市民が参加して一つのものを作り上げるという喜びが参加者のみでなく観劇した市民にも伝わるものであったと思う。事業実施に掲げられた三つの目標も十分に達成されたと感じた。団体との連携について反省があるようだが、今回の団体が学校であった事は素晴らしい事だと思う。逆に他の団体との連携ということを強く望まなくても良いのかと思う。市民との結びつきが強くなれば良いのかと思う。質問であるが、企業協賛は何件だったのか。今後継続して、市民が自分たちのまちの財産として誇れるミュージカル事業となれるよう、市民からも協賛金を呼びかけても良いのではないかと考えるのがいいか。</p> <p>■30団体・企業である。</p> <p>◎チケットが売り切れ、多くの観客が動員され、大成功に終わったことをお慶び申し上げる。子どもの入場者数が大人に比べて非常に少ないが、原因について教えて欲しい。大人だけでなく、子どもも楽しめるような仕組み・取組みが必要である。</p> <p>■明確には分からないが、アンケート等から判断して次のように考えている。今回の観客は、話題性や人間関係によって、観劇していただいた方々が多かったと思われ（アンケートから、「思ったより質が高かった。」の回答が多数。）、演劇そのものを楽しむことを目的として、来場した方が少数であったと考えている。したがって、子どもまで連れて観せるべきものと判断されなかったのではないかと考えている。次回は、このミュージカルが一程度以上の評価を受けたことから、子どもの観劇数が増えるものと期待している。</p>
--

【事業名】：千歳市吹奏楽協議会主催 演奏技術向上事業

<質疑応答>

◎協議会は、学校の吹奏楽団体と、プロをつなぐ架け橋となっているということか。アマチュアである千歳吹奏楽団の参加等は、例年ないのか。

■プロといっても演奏技術や指導力に大きな差がある。著名なプロ演奏家を招聘するにはそれなりの報償費が必要となり、学校単独で講師を招聘するには費用面でかなりの負担となる。吹奏楽連絡協議会が講師派遣をすることにより、各校の負担軽減となることや著名で優秀な講師を招聘することが可能となる。そういう意味では協議会がプロとの懸け橋となっているともいえる。千歳吹奏楽団は社会人の団体である。協議会設立時に加入の打診をしたが、学校の吹奏楽部の演奏技術の向上という側面が強いこともあり、「入会しない」との回答をいただいた経緯がある。しかし、第1回合同演奏会では、ゲストとして演奏していただいた。

◎講習会による児童・生徒の演奏スキルアップと、その実践の場として演奏会が用意され、実りのある事業となったものと思う。今後の展開についてアイデアがあれば、ご提示いただきたい。収支決算書の支出欄、” ☆補助金以外からの支出” 以外の支出を合計すると¥265,360 となり、補助金 (=市の助成金?) の金額と一致しないのではないか。

■各校の吹奏楽指導者は、必ずしも吹奏楽専門の指導者であるとは限らない。中には音楽専門外の指導者も存在する。吹奏楽は指導者の力量に大きく左右されるのも事実である。したがって、指導者の指導力向上のための合奏講習会の内容や実施回数など、今後の協議としての活動内容の充実・発展を図りたいと考える。補助金以外の支出については、各予算科目の予算額すべてが補助金以外からの支出となるものではない。全体を通して市の助成金と補助金以外の支出を財源として支出していることから、単純計算で市の助成金と合致するものではない。

【事業名】：支笏湖の歴史遺産「山線」を活用した地域活性化事業

<質疑応答>

◎作成した DVD は、市内小学校に配布したとのことだが、コミセンにも配布し、コミセン祭り等地域の行事の際に BGM のように流すのはいかがか。

■制作枚数に限りがあるためコミセンの個所数等を確認の上へ配布できるよう調整する。

◎市指定有形文化財である「山線鉄橋」を活用とした地域活性化を目標に事業を展開され、地域の中では CD や紙芝居等の活用で地域の歴史について知る事ができたと思われる。市内小学校への制作物の配布も協議中との事で支笏湖地域のみならず市内に広く広まっていく事を期待する。質問だが、支笏湖地域の観光客の増加を望んでおられるようだが、地元の企業等の協賛は検討されなかったのか。今後継続していく上では、地元の協力も必要な力であると思う。もっと歴史的な価値を教育委員会とも連携し伝えていっていただきたいと思う。

■今回の CD 及び DVD の製作に当たっては直接企業等の協賛はいただいていない。ただし、今回の事業目的の一つは地域の歴史遺産を次世代の子どもたちに伝えることであり、教育委員会との連携は不可欠なものと考えており、効果的な方策について教育委員会の助言を頂きながら進めていく。また、「王子軽便鉄道ミュージアム 山線湖畔驛」が 1 月 25 日にオープンしたところであり、このミュージアムを活用しながら支笏湖での既存イベントとの連携等も必要なものと考えている。企業等との協賛については、これまでも支笏湖でのイベント開催時には、有形無形の協賛をいただいております。今後もお願いしていく。

◎本事業で制作された楽曲や映像は、支笏湖の文化遺産を広めるためのツールとして役立つものと期待している。さらに広げていくことを目指し、これらの楽曲や映像が、SNS や動画配信サービスを利用して配信され、だれでも自由にアクセスできる状態にして頂けたらと思う。

■すでに DVD (紙芝居：あかいはしのおはなし) は youtube でご覧いただけるようになっている。CD (山線鉄橋のうた) についても今後検討していく。

(2) その他について

次回については、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み決定予定。